

**P P A方式による流域下水道施設への太陽光発電設備等導入業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

1	日 時	令和7年12月23日 13時15分から16時50分まで
2	出席委員	上下水道部 上下水道部長 上下水道部 流域下水道課長 上下水道部 上下水道総務課長 環境県民局 環境政策課長 公益財団法人 広島県下水道公社 業務部長
3	議 題	最優秀提案者の決定に関する審査
4	担当部署	上下水道部 流域下水道課
5	開催方法	参集
6	議事内容	<p>提案された企画提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。</p> <p>1 最優秀提案者 中国電力株式会社 (共同事業者：株式会社エネルギア・ソリューション・アンド・サービス)</p> <p>2 審査対象者 A社：株式会社中電工 広島統括支社 B社：中国電力株式会社 (共同事業者：株式会社エネルギア・ソリューション・アンド・サービス) C社：ENEOS TotalEnergies Renewables Japan Projects 合同会社 (共同事業者：旭テクノプラント株式会社)</p> <p>3 審査対象者の評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり</p> <p>4 主な評価 (1) A社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メンテナンス性の向上に配慮した工夫があった。 ・ 環境配慮、安全対策について、地域の特性に応じた提案があった。 ・ 履行期間中のリスク対応について、業務継続が不可能となった場合を想定した具体的な提案がなかった。 ・ 資金計画に具体性がなかった。

		<p>(2) B 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家消費電力量及び設備仕様について、発電シミュレーションや各施設の系統等を具体的に検討していた。 ・ 維持管理、メンテナンスの実施体制及び計画について、地域の特性に応じた提案があった。 ・ 履行期間中のリスク対応について、十分対応できるように様々な状況を想定した提案があった。 ・ 資金計画に具体性がなかった。 <p>(3) C 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自家消費電力量及び設備仕様について、周辺状況を踏まえて太陽光パネルの配置を検討していた。 ・ 資金計画について、内容を十分検討していた。 ・ 提案された電気料金単価が他社と比較して高額だった。
--	--	---